

大館市全体の資産は？

平成20年度連結財務書類4表を公表します

▼新地方公会計制度に

基づき財務情報を公表

これまでの公会計制度は、その年にどのような収入があり、どのように使ったのかといった現金の動きが分かりやすい半面、市で整備してきた資産や、行政サービスの提供に要したコスト情報が不足していました。

それらの不足情報を補うために、市では公営企業的な手法を取り入れ、総務省が示す統一基準で普通会計の「貸借対照表（バランスシート）」と「行政コスト計算書」及び「キャッシュフロー（資金収支）計算書」を公表してきました。

今年度からは、総務省が新たに示した作成指針「新地方公会計制度」に基づいて、普通会計を含めた市全体の財務情報を分かりやすくお知らせします。

▼制度の概要

①連結して財務書類4表を作成

市には、普通会計で行う事業

と、特別会計や公営企業会計で行う事業があります。また、市と連携して行政サービスなどを実施する一部事務組合や公社、第3セクターなどもあります。

新しい財務書類では、一般会計のほか、特別会計や市が一定割合以上を出資している関係法人などすべてを含め、一つの行政サービス実施体としての「連結の財務書類4表」①貸借対照表（バランスシート）、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書」を作成することになります（図①）。

②二つのモデルから選択して作成
4表の作成には、総務省が示した二つの財務書類モデル（基準モデルと総務省改訂モデル）のうち、いずれかを選択することとしています。

また、作成した情報（20年度決算）は21年度中に公表するよう求められ、市では「総務省改訂モデル」を採用して公表することになりました（解説参照）。

連結財務書類4表のイメージ(図①)

連結グループ

市 全 体

普通会計※

- 一般会計
- 小規模水道等特別会計
- 休日夜間急患センター特別会計
- 田代診療所特別会計
- 奨学資金特別会計
- 都市計画事業特別会計
- 土地取得特別会計
- 温泉開発特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 介護サービス特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 老人保健特別会計
- 病院事業会計
- 水道事業会計
- 工業用水道事業会計
- 下水道事業会計
- その他5会計

一部事務組合・広域連合

- 秋田県市町村総合事務組合
- 秋田県後期高齢者医療広域連合
- 秋田県市町村会館管理組合

地方公社・第三セクター等

- 大館市土地開発公社
- 秋田県北環境保全センター
- 財大館市勤労者福祉事業団
- 社大館市社会福祉事業団
- 財大館市文教振興事業団
- 財比内町観光開発公社
- 株田代ふるさと振興公社



連結財務書類4表

- ①貸借対照表(バランスシート)
- ②行政コスト計算書
- ③純資産変動計算書
- ④資金収支計算書



解説

新地方公会計モデル

総務省では、企業会計の考え方を取り入れ、発生主義現金の収入や支出に関係なく収益や費用が発生した時点で記録する方法を活用した、次の「基準モデル」と「総務省方式改定モデル」のいずれかの方法で公表すること決めました。

◆基準モデル

原則として、すべての資産を公正価値で評価し直したうえで、固定資産台帳を作成するほか、個々の取引情報を発生主義により作成したモデル。

◆総務省改訂モデル

固定資産台帳や個々の複式記帳によらず、既存の昭和44年からの決算統計情報を活用して作成したモデル。

◎大館市は、早期に資産・債務情報を整理して公表するために、総務省改訂モデルを採用しました。

お問い合わせ

財政課財政係
☎43-7030

※普通会計とは、地方公共団体の財政状況を統一的に比較するため、統計上用いている会計区分です。